

第9回酒田港国際資源循環フォーラムが開催されました

10月25日（金）に第9回酒田港国際資源循環フォーラム（主催：NPO 法人山形県リサイクルポート情報センター）が酒田市内で開催されました。このフォーラムは、平成15年に酒田港がリサイクルポートに指定され、さらに平成23年に日本海側拠点港（リサイクル貨物部門）に位置づけられたことを契機に、日本海側対岸諸国との交流とリサイクル関連ビジネスの拡大を目的として始められたものです。

第9回となる今回は、酒田港風力発電事業者協議会 加藤会長が「世界・日本・山形県・酒田港の風力発電の現状と酒田港風力発電事業者協議会の活動について」、NPO 法人北東アジア輸送回廊ネットワーク 三橋副会長が「一帯一路・米中摩擦が日本海交流に及ぼす影響」と題し、それぞれ講演されました。また鼎談では、東北大学大学院国際文化研究科の劉庭秀教授が司会となり、「これからの酒田港を発展させるには」とのテーマで意見を交わされました。



主催者挨拶
NPO 法人山形県リサイクルポート情報センター
富樫邦男理事長



挨拶
国土交通省 酒田港湾事務所
池田武司所長



講演
酒田港風力発電事業者協議会
加藤聡会長



講演
NPO 法人北東アジア輸送回廊ネットワーク
三橋郁雄副会長



鼎談（司会）
東北大学大学院国際文化研究科
副研究科長 劉庭秀教授（左から1人目）



鼎談の様子

